

県内通算500勝 作新

新春制す



作新—矢板中央決勝 4回裏作新1死一塁、篠原が右中間に
適時三塁打を放つ。清原球場

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
矢板中央	0	0	0	0	0	2	0	1	0	3
作新	0	1	0	2	0	0	2	1	X	6

春季県高校野球

第67回春季県高校野球大会兼第66回関東高校野球県予選最終日は6日、宇都宮市の清原球場で決勝を行い、勝負強さをみせつけた作新が6―3で矢板中央を破り、5年ぶり14度目の優勝を果たした。矢板中央の準優勝は13年ぶり2度目。初の頂点を逃した。春の県大会決勝で両校が顔を合わせたのは初めて。

第66回春季関東地区高校野球大会は17日から21日まで、神奈川県で開催。横浜市の横浜スタジアムほかで、1都7県の予選を勝ち抜いた19校が出場して熱戦を繰り広げる。本県からは、作新(3年連続24度目)と矢板中央(13年ぶり2度目)、選抜甲子園大会4強で推薦枠の佐野日大(2年連続8度目)の3校が出場する。

7安打ながら、好機にそつなく得点を重ねた作新が矢板中央の追撃を振り切り、春、夏、秋の県大会を通じ500勝を達成した。作新は二回、右翼線二塁打で出た篠原和希が、佐藤峻夢の左前打で三進すると、敵失絡みで生還し先制。七回に吉沢優真の右翼線三塁打で2点、八回には横尾宜甫の左犠飛で1点を追加し

た。先発のエース藤沼卓巳は八回まで毎回奪三振の好投。8安打を浴びたが最後まで投げ抜いた。矢板中央は五回まで3安打と苦しんだものの、六回に打線がつかなくなった。矢板仁の左中間二塁打を口火に4連打で2点。矢板は八回に大会第7号となる左越え本塁打を放ったが、反撃もそこまですらなかった。

下野新聞

しもつけ
発行所 宇都宮市昭和1丁目8番11号
〒320-8686
下野新聞社
電話 028-625-1111
郵便振替口座 00180-1-623433
©下野新聞社2014
読者室 028-625-1179
(受付 月～金・午前10時～午後6時)
編集局 028-625-1121
販売 028-625-1120 (販売)
事業局 028-625-1134 (事業・教育)
営業局 028-625-1133 (広告)
PC・スマホ・携帯でも
下野新聞 検索

下野新聞購読お申し込みは
0120-810081

電子号外

下野新聞購読お申し込みは
フリーダイヤル
0120-810081

携帯で、スマホで栃木のニュースを!!
下野新聞 SOON
月額 250円+税
下野新聞 検索